

令和6年度第1回原村地球温暖化対策推進委員会 議事録

名 称	第1回原村地球温暖化対策推進委員会
日 時	令和6年7月22日（月）
場 所	原村役場3階講堂
出席者	小林光委員長、小松志穂副委員長、宮坂早苗委員、山田智史委員、雨宮一志委員、北田耕一郎委員、伊藤久人委員、平川拓洋委員、鮎川ゆりか委員 <b>事務局</b> 原村役場 建設水道課長 清水、環境係長 平出、環境係 桂 <b>委託事業者</b> おひさま進歩エネルギー(株) (OSE) 蓬田、桜井、五十嵐
内 容	目標達成に向けた施策の優先順位、重点施策（案）について
<b>1 開会</b>	
<b>2 委嘱状交付</b>	
<b>3. 今年度の原村地球温暖化対策推進委員会について</b> ・別途資料2の通り（環境係より）	
<b>4. 報告事項</b> (1) 原村地球温暖化対策実行計画とパブリックコメントの結果について ・別途資料3、4の通り（環境係より）	
<b>5. 議題</b> (1) 目標達成に向けた施策の優先順位、重点施策（案）について 資料5、6、7の通り（環境係より）	
<b>【質疑応答】</b>	
・（委員A）重点施策にソーラーカーポートはないのか。EV充電スタンドと併せて設置しないのか。 →（委託事業者）EV充電スタンドのみ設置する場合もある。必ずしもソーラーカーポートとセットで設置するものではない。	
・（小林委員長）CO <sub>2</sub> 削減量はライフサイクル全体ではなく2030年の単年度の削減量、との理解で良いか。 →（委託事業者）ご理解の通り。村として2030年度での目標達成を目指していることから、29年度まで対策を積み上げた結果を反映した2030年単年度の削減量を示した。	
・（委員B）2030年度目標達成にむけたロードマップについて、見直しの計画はあるか。 →（事務局）区域施策編の改訂と併せて、ロードマップも見直していきたい。 →（小林委員長）ロードマップ自体を見直すかは、はっきりした方がいい。	
・（小松副委員長）資料7p4の6位「次世代自動車への転換推進」について、EV車の費用は一台あたり400万円を推定しているが、車種や年代による低価格化は考慮しているか。 →（委託事業者）試算が難しいため、考慮せずに厳しめの平均値とした。	
・（小林委員長）区域施策編ではカーボンニュートラル農業が強調されているが、重点施策案には入っていない。どう対応していくか。 →（事務局）今回のロードマップでは、2030年度までに確実に目標を達成することを重視している。カーボンニュートラル農業については、8月中の調査を踏まえて、参考情報等としてロードマップに位置付けることを考えている。	
・（委員B）公共施設へのバイオマス化について、燃料の供給体制はどうなっているか。	

- (事務局) 村内だけでバイオマス燃料の供給は難しい。
- (委託事業者) おそらくチップボイラーになると思う。原村及び周辺地域でチップを供給できないか調査中。
- ・ (委員 A) 資料 7 p2 の 10 位「住宅・事業所の省エネ化の推進」について、省エネ基準は平成 28 年度で良いのか。
- (委託事業者) 平成 28 年度基準は削減量と費用試算のための目安として設定している。平成 28 年度基準で十分かについては委員会及び村で検討・判断されるものと理解している。

#### 【重点施策案に対する意見】

- ・ (委員 B) 再生可能エネルギーの項目に地中熱を入れてはどうか。もみの湯の改修と同時に地中熱を導入するべき。
- ・ (小松副委員長) 「10 公共施設の省エネ機器導入」と「15 公共施設への先導的省エネ機器の導入及び職員の率先行動」は、省エネ機器導入の部分が重なっているが、2 つに分けた理由はあるか。
- (委託事業者) パブリックコメント募集時の計画案の行動が混入してしまった。「15 公共施設への先導的省エネ機器の導入及び職員の率先行動」に一本化して修正する。
- (小林委員長) 公共施設の施策については整理してまとめてほしい。
- 15 について、省エネ機器導入に活用できる補助金の案内をしながら、住民への環境意識を高めることも必要
- ・ (小林委員長) 役場が公用車の EV 化を率先して実施するために、「公用車の次世代自動車への転換」の優先順位を引き上げたほうが良いのではないかと (資料 5 より)
- ・ (委員 C) 資料 5 「15 公共施設への先導的省エネ機器の導入及び職員の率先行動」は、優先順位 9 位の「環境教育などの学ぶ機会の提供」に統合して良いのではないかと。また、職員の率先行動と併せて職員の意識向上も施策に入れてはどうか。
- ・ (委員 D) 資料に 2021 年度原村旅客+貨物登録台数 9,100 台とあるが、村内の運輸事業者は 4 事業者で、登録車数は 40 台。旅客事業者はいない。
- (委託事業者) 登録台数はナンバーの登録台数を表している。旅客には自家用車や企業所有の乗用車を含み、貨物には緑ナンバーの他、白ナンバーの貨物自動車を含む。
- ロードマップ作成時に分かりやすく記載する。
- ・ (小林委員長) 原村には太陽熱のポテンシャルもあるので、再エネの施策に追加できないか。
- ・ (委員 B) 生ごみの分別で焼却場に使う石油を減らすことができる。
- (小林委員長) 生ごみの分別について、人づくりの施策に入れてはどうか。
- ・ (委員 C) 農業へのアプローチが重要。太陽光パネルの設置や EV 化の主体について、「農業」も入れてはどうか。

#### 【重点施策案に対する編集の仕方について】

- ・ (小林委員長) 施策の内容を種別化し、主体も分けて記載したほうが良い。
- (委託事業者) 今回、重点施策の選定のみを目的として資料を作成している。ロードマップの原案を作成する際には主体別の構成を予定している。
- ・ (小林委員長) 各行動の優先順位はいつまでつけておくのか。
- (事務局) 最終的にロードマップで公表する際には順位を入れておく必要があるとは考えていない。
- ・ (委員 C) 資料 7 p6 の 4 位「景観を考慮した農地への太陽光発電導入に向けた調査検討」について、「農地」への太陽光発電等導入ではなく、「農業」への太陽光発電等導入に変更してはどうか。
- (事務局) 区域施策編では「農地」になっているが、ロードマップでは「農業」に修正する。
- ・ (小松副委員長) 資料 5 の p1 「1. 各行動の優先順位」一行目より、「29 の行動」は「25 の行動」ではない

か。

→ (委託事業者) 検討資料上で CO<sub>2</sub>削減量試算の都合上 1つの行動を分割し、これをカウントしていた。「25の行動」に修正する。

**【周辺地域の取り組み状況について】**

(委員 D) 周辺の自治体の取組状況はどうか。

(小林委員長)

- ・茅野市：地球温暖化対策実行計画を今年度作成する。
- ・富士見町：第2次富士見町都市計画マスタープラン策定済。
- ・ソーラーシェアリングは、茅野市・富士見町は推進する計画となっている。
- ・バイオマスは、発電だとコストがかかるため、熱利用の方が良い。

(委員 A)

- ・諏訪市：地球温暖化対策実行計画を策定済。2030年度までに2010年度比で57.1%削減目標としている。
- ・岡谷市：地球温暖化対策実行計画を策定済。2030年度までに2013年度比で46%削減目標としている。
- ・下諏訪町：地球温暖化対策実行計画を策定済。2030年度までに2013年度比で54%削減目標としている。
  
- ・(事務局) 公共施設へのPPA太陽光発電の導入は各地で行われている。原村でも地元で立ち上がった事業者がいるので、今後の動向に期待したい。